

平成29年度 第1回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成29年4月21日（金）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後3時30分

○ 出席委員の氏名

出席委員	委員（委員長）	深田 勇
	委員（委員長職務代理者）	中川 茂
	委員	宮嶋 珠美
	委員	佐伯 和亜
	委員（教育長）	石高 雅信
欠席委員	なし	

○ 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	丸谷 統一郎
	教育総務課長	和藤 達也
	教育総務課参事（学校給食センター所長）	大谷 康弘
	こども教育課長	能登 琢也
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	福富 省吾
	こども育成課参事	富岡 隆
	教育総務課参事（課長補佐）	正木 一郎
	教育総務課教育総務係長	若森 和歌子

事務局以外	地域コミュニティ振興部	
	生涯学習課長	小谷 士郎
	生涯学習課参事（図書館長）	福井 正幸

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名
佐伯 和亜 委員

第2 前回の会議録の承認
平成29年3月28日開催 第12回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

- (1) 図書館と学校・園との協力事業について
- (2) 第3次豊岡市男女共同参画プランについて
- (3) 豊岡市人権に関する市民意識・実態調査報告書について

第5 議事

- 議案第1号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について 【非公開案件】
- 議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について 【非公開案件】
- 議案第3号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について 【非公開案件】
- 報告第1号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について (こども教育課)
- 報告第2号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について (こども育成課)
- 報告第3号 豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- 報告第4号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 平成29年度事務概要等について
- (2) 豊岡市歴史文化基本構想の配布について

2 こども教育課

- (1) 平成29年度自然学校の実施について
- (2) 平成29年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について
- (3) 平成29年度修学旅行、運動会及びオープンスクールの実施について
- (4) 平成29年度全国学力・学習調査の実施について
- (5) 平成29年度の豊岡市小中一貫教育の推進について
- (6) 豊岡市こども支援センターの概要について
- (7) 豊岡市こども支援センター3月の活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 平成29年度幼稚園・保育所・認定こども園の保育料について
- (2) 平成29年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について
- (3) 平成29年度放課後児童クラブの入所状況について
- (4) 運動遊び事業の冊子の配布について

第7 教育委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

----- 開会 午後1時30分 -----

(深田委員長)

ただいまから平成29年度第1回定例教育委員会会議を開会いたします。本日は教育委員全員が出席しております。会議の定足数である過半数を満たしておりますので、会議が成立していることを報告させていただきます。それでは会議次第に従って進めさせていただきます。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(深田委員長)

日程第1「会議録署名委員の指名」です。本日は佐伯委員にお願いしたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(深田委員長)

日程第2「前回の会議録の承認」です。平成29年3月28日に開催いたしました平成28年度第12回定例会の会議録につきましては、事前に配付し確認をしていただいておりますが、承認を求めます。何か誤りや修正点等ありましたでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

なしの声がありましたので会議録につきましては承認することに決定いたしました。

【日程 第3 教育長の報告】

(深田委員長)

日程第3「教育長の報告」に移ります。それでは教育長、よろしくをお願いします。

《教育長の報告概要》

平成29年3月28日から今回の定例教育委員会会議の開催までの期間における教育活動の概要

*但東中学校の訪問について

4月7日に但東中学校を訪問した。これは5日の事案を受け、先生方の取組に対する感謝とお礼を伝えたいという思いのもとで訪問した。

*公私立園長会での依頼について

4月18日の公私立の保育園、認定こども園の園長会で2つのお願いをした。

豊岡には3つの教育課題がある。その教育課題を解決するためには乳児期・幼児期からしっかりとした対応をしていかなければならない。そのために専門機関としっかりとつないでほしい。合わせて小学校にもその旨をしっかりとつないでほしい。そういった連携を心がけて取り組んでいただきたいということをまず1点目としてお願いした。

2点目は子どもにつけなければならない2つの面からの力があり、1つはどのような時代になっても絶対に必要とされる不易の力である。もう1つは、時代が変わると共に新たに求められる流行の力である。成長につれて流行の力が占める割合が大きくなるが、今グローバル社会の中で様々な力が求められている。従って、全ての保育園・幼稚園・認定こども園で様々な体験をさせていただきたい。さまざまな体験が子どもたちの生きる力になって結びつくので流行の力もおろそかにすることなしに是非お願いしたい、この2点についてお願いした。

(深田委員長)

ありがとうございました。教育長の報告は終わりました。今の教育長報告について何か質問がありましたらお願いします。

(中川委員)

18日の公私立園長会というのは今までからずっと開催されていますか。

(石高教育長)

はい、今までからありました。

(中川委員)

今年度から始める3つのことは、具体的に依頼されましたか。

(石高教育長)

いえ、具体的には言ってませんが、園長会で話をしています。

(中川委員)

わかりました。

(深田委員長)

その他質問はありますか。では、教育長報告は以上で終了させていただきます。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(深田委員長)

日程第4「地域コミュニティ振興部の報告」に入ります。本日は3点出ております。生涯学習課からの報告ですので生涯学習課長、また図書館については、生涯学習課参事から報告をお願いします。

《生涯学習課参事（図書館長）の説明概要》

(1) 図書館と学校・園との協力事業について

協力事業として学級単位で図書を 30 冊貸出する団体貸付、学校へ出向いてお話しを行うお話しキャラバン、読み聞かせ等の指導者派遣及び図書館見学を例年どおり行う。またボランティアの養成や多くの子どもたちと本をつなぐことに関心を持っていただくために、読み聞かせやストーリーテリング、子どもの読書について学ぶ研修会や講習会も開催する。昨日の校園長会でも説明した。

《生涯学習課長の説明概要》

(2) 第3次豊岡市男女共同参画プランについて

(3) 豊岡市人権に関する市民意識・実態調査報告書について

この2つの分野については、別冊の資料と概要書をそれぞれ付けている。今回は、その内容について1つひとつの説明は割愛し、2点について情報提供として報告する。概要版については本編のダイジェスト版で参考である。どちらの部分についても学校教育の中で子どもたちに対し人としての社会性などを向上させるために大変努力をいただいている内容である。今回このプランの報告書をまとめる中で気になった点を少し報告する。男女共同参画の分野で平成 27 年度に（株）電通が行った調査によれば、性的マイノリティーの関係で、自分の性別に違和感を覚え、場合によっては孤立感を深めておられる方が 13 人に 1 人の割合でおられるという実態の報告がなされた。豊岡市の実態はわからないが、このような方を孤立させないように理解を深める取組が必要ではないかと考えている。

次に人権意識実態調査の結果から、4つ気になった点があった。1つ目は子どものしつけのためなら体罰も必要だという考え方が少し強い傾向にあること。2つ目は同和問題に関する意識は高い反面、同和問題の存在を半ば容認するような意識も高い結果が現れていたこと。3つ目は、人権意識度も同和問題意識度も総体的に低く、しかも様々な人権教育や啓発などに関心がなく、かつ自らも行動しようとししない人々の存在が明らかになったこと。4つ目は、人権侵害を被っても誰にも相談せずがまんしたという人々が過半数を超えていたこと。この結果を踏まえ、生涯学習課では、1人1人を尊重するまちづくりをこれからも進めていきたいと考えている。

(深田委員長)

ありがとうございました。地域コミュニティ振興部生涯学習課から3項目について報告がありました。これにつきまして何か質問・ご意見はありますでしょうか。

(中川委員)

図書館と学校園との協力事業の中でページの最後に記載されている研修・講習会は、豊岡本館、それから城崎、出石では開催されるが、その他の館で開催できない理由は、スタッフの関係ですか。それとも利用者がないなどの理由からでしょうか。

(生涯学習課参事（図書館長）)

申し訳ございません。昨年も本館と城崎と出石で実施していることのみ確認しており、その他

の館で開催していない理由については、今、把握しておりません。

(中川委員)

これは要望なのだけれども、今年から小中一貫が始まり、ふるさと教育は全市一斉で始まるから、是非とも全地区で開催をお願いしたいと思います。

(深田委員長)

そのような意見、要望が出ておりますので、ご検討をよろしくお願いします。その他質問・意見はありますか。

(宮嶋委員)

同じく図書館にお尋ねします。図書の団体貸出は、各学級で借りておられる事例があるのでしょうか。

(生涯学習課参事(図書館長))

毎年、各学級毎に40冊借りていただいております。

(宮嶋委員)

実際借りておられるんですね。どこの学校も。

(生涯学習課参事(図書館長))

はい。すでに申し込みのあるところもあります。4月12日に各学校園にメールで案内を送信しましたが、それより前から申し込みについて問い合わせがあり、多くの学校にご利用いただいております。

(宮嶋委員)

わかりました。ありがとうございました。先生が大変だろうなと思ったのでお尋ねしました。私は竹野分館を利用しているのですが、図書館の方が学校に行って授業をされていることは良いことだと思っていたのですが、学校の先生が図書館に借りに行かれることは聞いていなかったもので、こういう取組もしておられるのだなと思いました。

(深田委員長)

その他ありますか。では地域コミュニティ振興部の報告を以上で終了させていただきます。どうもありがとうございました。

【日程 第5 議 事】

(深田委員長)

日程第5「議事」に移ります。議案第1号から議案第3号までにつきましては人事に関する事案となっておりますので、改正前の豊岡市教育委員会会議規則第18条第1項の規定に基づいて非公開としてよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

了承が得られましたので非公開とさせていただきます。本日は傍聴の方がいらっしゃいませんので、このまま会議を続けさせていただきます。

○議案第1号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について

【非公開会議】

《 豊岡市立図書館の設置及び管理に関する条例第17条の規定に基づき、豊岡市立図書館協議会委員を任命することについて、生涯学習課参事（図書館長）が説明し、審議の結果、「異議なし」と決定された。 》

○議案第2号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

【非公開会議】

《 豊岡市立学校給食センターの設置及び管理に関する条例第5条の規定に基づき豊岡市学校給食センター運営委員会委員を任命することについて、教育総務課参事（学校給食センター所長）が説明し、審議の結果、「異議なし」と決定された。 》

○議案第3号 豊岡市奨学生選考委員会委員の委嘱について

【非公開会議】

《 豊岡市奨学生選考委員会規程第3条及び第5条の規定に基づき、豊岡市奨学生選考委員会委員を委嘱することについて、教育総務課長が説明し、審議の結果、「異議なし」と決定された。 》

(深田委員長)

ここまでが非公開の審議となっております。以後につきましては会議を公開して審議といたします。

報告第1号「豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について」を議題といたします。こども教育課長、説明をお願いします。

○報告第1号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

《こども教育課長の報告概要》

豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱を定めたので報告する。

「豊岡市夢へ挑戦する高校生支援事業補助金」が以前からあったが、平成27年度と平成28年度は執行した実績はない。そのため、これを廃止し、今年度新たに「豊岡の未来を創る高校生支援事業補助金」を創設した。豊岡総合高校で高校版のローカル&グローバル学習への取組として、カナダのヴィクトリア市が主催するキャンプヴィクトリアに参加する生徒の参加費用の一部を補助するものである。現在8名の申込があり、他1名が検討中で9名の申込者があるのではないかと

と聞いている。

(深田委員長)

この件につきまして、何か質問・ご意見はありますでしょうか。

(中川委員)

対象経費というのが赤でここに書いてありますが、除かれる部分というのは端的に言えば往復の飛行機運賃と理解したらいいですか。

(こども教育課長)

そうです。

(中川委員)

もう1つよくわからないのが対象者。総合高校に在籍する生徒のグループまたは個人とあるが。

(こども教育課長)

総合高校に在籍する地域国際系列の生徒が対象です。

(石高教育長)

これを作った意図が、ローカル&グローバルの視点で英語を学んで豊岡を飛び立つのではなく、地域のふるさとをしっかりと学んだ中で英語も一緒に学び、できるだけこの地域に貢献する子どもたちを育てていこうという視点ですので、地域国際系列を対象としています。

(深田委員長)

私も対象者は、グループと個人と両方の申し込み方があるのかなと感じましたので、表記の仕方の工夫が必要かと思います。

これは報告事項ですので事務局のほうで斟酌していただければと思います。

この補助金等交付要綱の改正について何か質問・ご意見はありますか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

では打ち切ります。表記についての意見がありましたので、よろしくご配慮をお願いします。補助金等交付要綱が一部改正されることをご承知おきください。

(深田委員長)

続きまして報告第2号「豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について」を議題といたします。これにつきましてはこども育成課参事、報告をお願いします。

○報告第2号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

〈こども育成課参事の報告概要〉

豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱について、資料に基づき説明する。

改正内容は、国の補助金等交付要綱に合わせて改正するものと、国による補助事業の予算化に合わせて事業期限を改正したもの、事務の実態に即したものとするため交付申請期限等について改正するために一部の改正を行ったもので、7つの補助金について改正した。国の補助金交付要綱に合わせて改正したものは、30 豊岡市一時預かり保育事業補助金、51 豊岡市保育の質の向上のため研修事業の補助金、国による補助事業の予算化に合わせて事業期限を改正したものは、61 豊岡市保育対策総合支援事業で、その他事務の実態に即して改正したものは、25 豊岡市託児保育者補助金、27 豊岡市延長保育事業補助金、30 豊岡市一時預かり保育事業補助金、31 豊岡市障害児保育事業補助金、32 豊岡市重度食物アレルギー児対策事業補助金、51 豊岡市保育の質の向上のための研修事業補助金である。

(深田委員長)

報告・説明は終わりました。ただ今の報告についての質問・ご意見はありませんでしょうか。

(石高教育長)

聞き落としたのかもわからないけれど、保育教諭と保育士の違いというのは。認定こども園を対象にした場合の保育教諭か。短時間児を扱う人もか。

(こども育成課参事)

認定こども園に配属の職員は保育士の資格と幼稚園の資格を両方持っていないといけませんので、その場合保育教諭という職名を使います。

(石高教育長)

1つは、認定こども園の職員を対象にしたのが保育教諭ですね。

(こども育成課参事)

そうです。保育所の職員の職名は、保育士です。

なお、幼稚園の職員も両方の資格を持っている職員は、保育教諭です。

(深田委員長)

その他何か質問はありませんか。

(中川委員)

概算払いの回数は1回と2回がありますが、その理由は何ですか。補助金額の多寡ですか。

(こども育成課参事)

豊岡市一時預かり保育事業および延長保育事業は、原則として年に1回とし、他は年2回としています。これは実際の事務の状況に合わせてという観点で行っています。例えば、保育の質の

向上のための研修事業については、補助制度開始当初から年2回の精算払いをしています。その都度実績報告書を提出いただきますが、概算払いを可とすることで、事務の効率化を図ることとしています。その他の補助金につきましても同様の考え方で長年行ってきている事務手続きに即した改正としております。回数の違いに関しましても、今までの流れに規定を合わせていくという考え方で今回整理させていただくものとなっております。

(中川委員)

わかりました。

(深田委員長)

その他何か質問・ご意見はありますか。

障害児保育事業補助金とアレルギー対策事業補助金についてですが、改正後は原則として年2回、概算払いをするとなっています。これらは今までは実績報告後精算交付となっています。補助金交付にかかる関係書類はいつの時点でどんな報告が出てくるようにされているのですか。

(こども育成課参事)

その2件につきましては、どちらも同じタイミングでの事務手続きとなります。1月時点で申請書を提出いただきますが、この時点では、4月から12月までの実績と、1月から3月までの見込みによる申請となります。これに基づき補助金の交付を決定します。1月から3月までの見込みと実績の違いは、3月末に分かりますので変更の必要があれば変更交付申請していただきます。3月末で確定した実績により最終の実績報告書を提出していただきます。

(深田委員長)

なぜこんなことを言い出したかと言いますと、市民の視線からいうと大変関心が高くなっています。保育についても幼児教育についても補助金がかかり出ているので、それについての行政側のチェックというのはきちんできているのだろうか、その点について最近よく問われると思いますのでお聞きしました。

(こども育成課参事)

今回改正しております補助金で、託児保育者補助金、障害児保育事業補助金、重度食物アレルギー対策事業補助金以外は全て国庫補助事業であり、市の精算払いはもちろんですが、その後国や県のほうの審査もあります。関係書類等につきましては十分に審査しています。書類がきちんとできていても実態がどうかということにつきましては、現在、県が今年度監査体制を検討されているところです。余談にはなりますがひとまず5月中に全認定こども園に対して検査調書が取りまとめられることとなっておりますので、その結果を見て改めて監査体制について県から指示がある、そういう状況になっています。

(こども教育課参事(こども支援センター所長))

障害児保育事業補助金につきましては、入所申し込みの段階で児童の状況を聞き取り、療育手帳を持っている、特別児童扶養手当を受給している、北但療育センター「風」の療育を受けてい

る通所証明、もしくは医師の診断書、それらで障害要件を確認しています。補助金を出す際には国の年齢別の保育士配置基準があり、そこに配置すべき保育士の人数、それにプラス加配で障害児の保育に当たっている保育士が雇用されていることを確認して補助金を出しておりますので、大阪府内で今問題になっているような状況ではないということです。

(深田委員長)

ありがとうございます。わかりました。その他何か質問・ご意見はありますか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

質問・ご意見打ち切りをさせていただきます。

では、こども育成課関係の補助金等交付要綱が一部改正されることをご承知おきください。

続きまして報告第3号「豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」報告を求めます。こども育成課参事の報告をお願いします。

○報告第3号 豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

《こども育成課参事の報告概要》

豊岡市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定について、資料に基づき説明する。

平成29年度の保育料の改正については、国の幼児教育の段階的無償化の推進として、市町村民税非課税世帯、年収360万円未満相当の世帯の保護者の負担を軽減することを目的に変更され、平成29年度の豊岡市の保育料について、国の制度に合わせて所要の減額を行うものである。

改正内容は、市町村民税の非課税世帯は第2子は無償化にし、第2子で現在1号認定の子どもは1,500円、2号認定の子どもは3,000円、3号認定の子どもは4,500円であったが、0円にするものである。

年収360万円未満相当世帯の保護者負担軽減については、ひとり親世帯等の保護者負担の軽減をさらに拡充するもので、1号認定の子どもについては現在第1子7,550円を3,000円に引き下げる。2号、3号認定の子どもについては、年収330万円未満相当の家庭については第1子を6,000円にする。年収360万円未満相当世帯までは6,000円にするということで同額となる。

保育所の保育標準時間及び保育短時間認定については、B階層、市町村民税非課税世帯の第2子を0円に改正している。ひとり親・障害児のいる世帯はC1階層48,600円未満で、3歳未満児ではすでに豊岡市は9,000円より低い8,250円と8,050円であるので、そのまま据え置いている。3歳児・4歳以上児については7,050円のところを6,000円に、カッコ内の短時間認定のところは改正前と差額を合わせて200円減額している。C2階層77,100円以下で3歳未満児は13,000円としていたが今回の改正が3歳未満児も3歳児も同額に6,000円とする改正となり、3歳未満児もC1階層と同額の8,250円に減額をしている。3歳児・4歳児以上については国の基準どお

り 6,000 円としている。

(深田委員長)

ありがとうございました。ただ今の報告につきまして何か質問・ご意見はありますでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

質問・ご意見打ち切りをさせていただきます。

それでは、条例施行規則の一部が改正されますことをご承知おきください。

続きまして報告第4号「寄附物件の受納」について報告を求めます。教育総務課長、お願いします。

○報告第4号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の報告概要》

個人8件、団体19件から寄附物件の申出があり、これを受納したので報告する。No.22、No.23を除き卒業記念品、退職記念品である。

(深田委員長)

ありがとうございました。ただ今の報告についての質問・ご意見はありますでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

質問・ご意見打ち切りをさせていただきます。

寄附物件の受領をおこないましたのでご承知おきください。

議事につきましては以上で終了になります。

ここで休憩を取りたいと思います。

----- 休 憩 -----

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(深田委員長)

休憩前に引き続き会議を再開します。日程第6「教育委員会事務局の報告」に移りたいと思います。教育総務課から2点報告があります。教育総務課長、報告をお願いします。

1 教育総務課

《教育総務課の報告概要》

(1) 平成29年度事務概要等について

平成29年度豊岡市事務概要については、4月13日の文教民生委員会資料の教育委員会事務局分を抜粋したものである。この内容を今年度の教育委員会事務局3課の重点事業として文教民生委員会で説明した。なお、本庁6階の席次及び内線番号を示した資料も添付しているので活用されたい。

(2) 豊岡市歴史文化基本構想の配布について

豊岡市歴史文化基本構想と豊岡市の祭礼・年中行事等調査報告書を当日配付している。歴史文化基本構想は3月の定例教育委員会での審議を経て、完成したので報告する。豊岡市の祭礼・年中行事等調査報告書は平成26年度から行った民俗文化財の調査が完了し、その内容を報告書としたので活用されたい。豊岡市歴史文化基本構想は、このあと市会議員各位にも配布する予定である。

(深田委員長)

ありがとうございました。報告・説明は終わりました。教育総務課に対する質問・ご意見はありますか。

私のほうから1件だけお願いします。この重点項目の中に学校の施設設備で中学校への空調の設置があります。これについては学校の授業などに支障がないようにもちろん考慮されるのだろうと思いますが、時期的なことについてはどうですか。この時期にやるという計画はあるのですか。

(教育総務課長)

それぞれ平成30年度から一斉に稼働させるために但東中学校を除く8校の工事について、それぞれスケジュールを組んでおります。委員長がおっしゃるように授業には差し支えがないスケジュールで学校と調整し、業者とも調整していきたいと考えております。

(深田委員長)

なかなか業者との間の折衝というのは学校現場では難しいところもあると思いますので、教育総務課でもしっかりと管理をしていってほしいと思います。

他に何かありませんでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

それでは、教育総務課の報告は以上で打ち切りをさせていただきます。

続きましてこども教育課の報告に移ります。7点ありますが、最初に5点目までにつきまして、こども教育課長よろしく申し上げます。

2 こども教育課

《こども教育課長の報告概要》

(1) 平成29年度自然学校の実施について

自然学校は、一番早い学校が5月15日から2グループ、城崎小、三方小・清滝小から始まり、最終6月30日まで12のグループで実施する予定である。

(2) 平成29年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施について

5月29日の月曜日から6月2日金曜日までの5日間、中学2年生690名が266の事業所に分かれて実施する予定である。すでに各中学校ではどこの事業所に誰が行くかは決まり、これから事業所との打ち合わせなどの具体的な準備が進んでいく。なお教育委員の皆様方には例年どおり自然学校とトライやる・ウィークを合わせて視察をお願いしたい。5月30日から6月1日の3日間の間で日程調整をしたい。

(3) 平成29年度修学旅行、運動会及びオープンスクールの実施について

修学旅行は、来週、但東中学校4月25日から出かける学校がある。行き先等は例年どおりで、小学校は府中小学校のみ京都・奈良方面で、他は広島方面になっている。寺坂小学校は6年生がいないので実施しない。中学校は9中学校全て東京方面と聞いている。

運動会・体育祭は、小学校は9月16・17・18日の三連休で全て実施する予定になっている。中学校のは城崎中学校のみ小学校との合同開催のため9月16日だが、その他の中学校は1週前の9月9日・10日の土日での実施である。視察をお願いしたい。

(4) 平成29年度全国学力・学習調査の実施について

平成29年度の全国学力・学習状況調査は、先日4月18日(火)に今年度の学力調査が実施された。豊岡市内は特に問題なく、予定どおり小学校6年生、中学校3年生が受験した。結果は8月下旬に文科省から発表される予定である。結果を受け、各校の分析や市全体の分析を進めて次に生かしていく。来年度の平成30年度の予定は、4月17日(火)である。例年4月20日に一番近い火曜日で設定される。来年は理科が加わる予定である。また、小学校調査と中学校調査の連携についての取組が今年度から始まった。具体的には、今年度小学校6年生の結果が返ってきたら、小学校で個人コードと児童氏名の一覧表を作り、それを来年度中学校に引き継ぐ。3年後に中学3年生で受けたとき、その個々の生徒の3年間の学びの軌跡が分かる資料となる。

(5) 平成29年度の豊岡市小中一貫教育の推進について

昨日の校園長会でも校園長先生方にも依頼した。テーマは「小中一貫教育に係る取組の確かな実践」として掲げている。推進体制で4つの会議を書いているが、豊岡市小中一貫教育推進協議会、以前は小中連携教育推進協議会であったが、一貫教育推進協議会となり、1回目5月29日(月)の午後日高農改センターで開催し、佐藤教授にお世話になる。

共通実践内容はローカル&グローバル学習、それから学習指導と生活指導の取組であり、グリーンシートとブルーシートの部分の取組を共通実践とする。今年度も小中学校長会の校長先生方にお世話になり、4つのワーキンググループを組織する。スタートしたところからこれから実際に具体的に子どもたちの指導等が始まっていくが、グリーンシートの学習指導と

生活指導の取組はすでに昨年度からアプローチ&スタートカリキュラムとして小6の9月から中1の8月まで1年間の引き継ぎの計画書を立て、取り組んでいる。そういった中でなんとか豊岡の教育課題である不登校等の問題が改善できればと思っている。

初年度に当たって実践していく中で様々な課題や改善が必要なことが出てくると思われる。教育委員会としてもその実施状況を把握しながら、校長先生方のワーキンググループと協働し、その成果や効果的な実践事例等を集積する。年度末、3年後の大きな見直しに向け、現状把握等にしっかりと取り組んでいきたい。

(深田委員長)

ありがとうございました。こども教育課長から5点について報告・説明をいただきましたが、この報告・説明について何か質問・ご意見はありますか。

(石高教育長)

これは事後報告だから納得しなければ仕方がないのだけど、納得できないことが1つある。中学校の運動会の日程。何かというと、9月1日始業式で2日が土曜日、3日日曜日、4日月曜日から練習する。夏休みの課題の出来ていない子どもや、家での快適なクーラーでの生活からいきなり外に出てくる子どももいる中、5日間で仕上げないといけないので先生からかなり厳しい指導を受ける。今まで我々が校長会で子どもたちに無理のない状態で2学期のスタートをさせてほしいとして常に議論を行い、アプローチ&スタートカリキュラムも作った。この日程では、子どもたちが学校に対する拒否反応を示すのではないかと、もっと余裕を持った体育祭の日程は組めなかったのか。

それから、もう1点、日程を見たら9月10日が日曜日、11日が月曜日、日曜日に雨が降ったとしたら月曜日になる。学校と家庭と地域が一体でしなければならない、子どものがんばる姿を見てくれ、がんばっている姿を褒めてやってくれということを言いながら、一度雨で流れたら仕事を休んでいける親が何人いるのか。

この日程設定は、子どもの立場に立っていない。親の立場に立っていない。学校の都合だけでやっている。子どもの視点に立った日程とはどうあるべきかということ进行调整してほしい。このことは、教育長として学校現場に厳しく指導する。

全国学力・学習状況調査について補足するが、昨年度、豊岡市は中学校区ごとに小学校6年生で受けた子が中学校にきた時の調査をしました。すると小学校のときのデータよりも中学校に行ったほうが上がっている校区もあるけど、逆に下がっている校区もある。そこに対してはこれから授業改善を通して学力をつけていただきたいという取組をすでにお願ひしています。従って、豊岡の場合はすでに中学校単位ごとにデータを追跡していますので、合わせてお知らせします。

(深田委員長)

先取りでの実施はもうすでに本市においてはされているという報告でもありました。その他何か質問・ご意見はありますか。

(佐伯委員)

自然学校ですが、港東小学校と港西小学校、2つ併せても10何人です。他のグループの人数

と比べてすごく少ないですが、これが例えば城崎小学校と合わせて実施するというような方法は難しかったのでしょうか。

(こども教育課長)

港西・港東と城崎との連合が組めないかというご意見ですね。これにつきましては教育委員会が指導していることではありませんので、学校で従来からされていることになります。港西・港東については小中連携のモデル校として 11 年前から取り組まれ、小小連携も活発に実施されているところですので、そこに城崎が入ってくるとちょっと難しい部分もあるのかなと個人的には思います。こちらからどうこうという指導はしておりませんので何とも言えません。

(佐伯委員)

去年よりちょっと少ないなと思いました。せつかくされるのでしたらと思いましたので。

(石高教育長)

今まで連合でやる場合は、おおむね中学校に行く学校を見通して連合を組んでいます。田鶴野・奈佐は北中です。竹野小・中竹野・竹野南、これは全部竹野中、日高東中、それから出石中もです。従って港東・港西は港中に上がるということです。そこに城崎が入ることで、人数は増えるが活動そのものについては、難しい問題も出てくるのではないかと思います。もう 1 つは、組み替えしようと思ったら宿泊などの施設の予約をはじめ、相当な事前準備をして組み合わせを考えていく必要があり、すぐにはできない問題だと思います。

(深田委員長)

その他何か質問・ご意見はありますか。

1 点だけ教えてほしいのですが、資料の小中一貫教育の推進についての推進体制、この小中一貫教育の推進協議会の構成員に教諭一貫ブロック 1 名と書いてあります。この一貫ブロック 1 名は下に記載されている一貫ブロックの推進委員会で各学校から先生方が出てこられますよね。その中のマネージメントを中心的にされるのは管理職の先生になるのだらうと思いますが、教諭の先生方の中でも中心的に動かれる方を決めるということですか。それとも関係なく一貫ブロックの中の先生方の中で 1 人さえ出てもらえばいいと捉えたらよいのですか。

(こども教育課長)

一貫ブロック推進委員会が一番ブロックごとに具体的なことを協議していただくことになります。その中の先生の代表という扱いで特に代表者、長を選んでくださいということはこちらからはお願いしておりませんが、年 2 回の小中一貫教育協議会に推進委員会の教員の中の代表者と校長先生の代表者ということで、出席をお願いしているというところですよ。

(深田委員長)

先進的な取組をされている一貫教育では、この一貫ブロックの推進委員会、この役割が一番重要だということでした。もちろん管理職の先生が中心でしょうけれども、実際にいろんな動きを各学校の先生方に伝えたり、指導されるのは教員だと思うので、形式的なものにはならないため

にも、一貫教育推進協議会でも十分現場の教員との意見交換を行い、前進してほしいと思います。その推進協議会の構成員となる一貫ブロック1名の教員については重要な役割だと思っています。意見として聞いておいて下さい。

(こども教育課長)

・ブロックの学校数にもかなり差がありまして、例えば南北中ブロックになりますと小中学校の校長先生が11名おられます。各校の推進委員の先生を入れますと22名になり、推進協議会の教員は代表1名としています。5月の推進協議会については出席依頼をすでにさせていただいております。2月の推進協議会では、検討させていただきたいと思います。

(深田委員長)

参加される先生がブロックによって1回目はA先生、2回目はB先生ということはないですか。

(こども教育課長)

その選出につきましても各ブロックにお任せしていますので、こちらからは特に指示はしておりません。

(深田委員長)

他に何かご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

ではこども教育課の最初の5点についての報告は以上で終了します。

続きましてこども教育課、「豊岡市こども支援センターの概要」ともう1点をこども教育課参事から報告をお願いします。

《こども教育課参事〔こども支援センター所長〕の報告概要》

(6) 豊岡市こども支援センターの概要について

4月からこども支援センターの職員体制が充実されたので、その点について報告する。3月まで研修センター所長がこども支援センターの所長を兼ねていたが、専任の所長となった。所長と副所長の2人体制でセンターの管理運営を行う。

不登校対策で今年度スクールソーシャルワーカーとして、3月まで社会福祉課長だった方が週35時間の嘱託職員として配置された。勤務は、月曜日の午前中はセンターで勤務し、火水木金は出石中学校・豊岡北中学校・豊岡南中学校・日高東中学校にそれぞれ1日ずつ常駐する。スクールソーシャルワーカーの業務は、課題を抱えている児童・生徒がいる学校に入り、福祉の専門家という視点から学校や先生方のサポートを行い、必要な福祉サービスにつないでいくという内容になる。こども支援センターでは家庭相談係がセンターの中にあるので、このスクールソーシャルワーカーと4人の家庭相談員が連携を取りながら学校・家庭の

支援をしていきたい。

(7) 豊岡市こども支援センター3月の活動状況報告について

3月分、年度中の不登校、特別支援、家庭児童相談の取組状況について、こども支援センター活動状況報告書で資料を添付しているので、確認いただきたい。

先週の入学式の翌日から適応教室に子どもたちが来ている。今日も3人来ており、先生の指導の下にいろんな活動に取り組んでいる。この人数が今後増えなければいいと思っているが、引き続き学校と連携を取りながら子どもたちの支援をしていきたい。

(深田委員長)

ありがとうございました。報告・説明は終わりました。何かこども支援センターについての質問・ご意見はありますか。

(石高教育長)

3人が来ているのだけど、昨年来ていて今年は来ないけど学校に行っているという子は何人かいるのか。

(こども教育課参事(こども支援センター所長))

おりますが、人数までは把握していません。あとで報告します。

(中川委員)

スクールソーシャルワーカーが福祉との連携の役割を担うことは、もちろんよいことだと思うのだけど、さっきの説明の中で月曜日以外は一部の中学校、大規模の中学校に常駐するということが、名前が挙がった中学校以外への相談利用などはどうなっているのか。

(こども教育課参事(こども支援センター所長))

スクールカウンセラーとの連携が必要だということで、4つの中学校のスクールカウンセラーがおられる日にスクールソーシャルワーカーが勤務する体制を組んだのですが、まだ手探りの状態です。他にも5校中学校がありますので、そこをどうカバーしていくのか、また小学校のほうにも課題があると思いますので、中学校区内の小学校との連携をどう取っていくのかについても、今後スクールソーシャルワーカーとの情報交換を行いながら、こういった取り組みをしていくのか考えていきたいと思います。

(こども教育課長)

補足させていただきますが、各中学校区の小学校にも入っていただけるようには考えていますので、それ以外のところにつきましては、市の配置の計画としましては来年度あと2校、再来年度にあと3校、再来年度には9中学校区に入っていただく方向で計画はあります。また適切な人材の確保というのは非常に課題があると思います。なお、配置されていない学校につきましては但馬教育事務所にもう1人スクールソーシャルワーカーがおりますので、派遣申請を出せば希望した日に派遣は受けられることになっております。

(石高教育長)

再来年までに全校配置が県の指導なんですけど、この事業ができたときからその方針どおりにはいかないけど但馬教育事務所にも話をしていました。阪神間と但馬とでは人材を探すという面で違う。豊岡市内の中学校は、9校あるので人探しが特に大変な状況です。

(深田委員長)

1点お尋ねします。研修活動ですが、月に1回は市内の教員対象に研修講座を開くとなっていますけれども、具体的に組織の中で研修計画等を担当されるのはどこになりますか。

(こども育成課参事(こども支援センター所長))

不登校のラインです。

(深田委員長)

特別支援のところは関わらないのですか。

(こども教育課参事(こども支援センター所長))

こども支援センターで毎月1回調整の会議を持っていますので、そこは連携して対応していきたいと思っております。こども理解講座は臨床発達心理士の資格を持っている子育て総合センターの所長に月1回来ていただいて、こども理解講座を開催しています。

(深田委員長)

わかりました。こども支援センターの報告、以上で終了させていただいてよろしいでしょうか。

(委員)

はい。

(深田委員長)

続きましてこども育成課より報告をお願いします。4点ありますが順番をお願いします。こども育成課参事、報告・説明をよろしくをお願いします。

3 こども育成課

《こども育成課参事の報告概要》

(1) 平成29年度幼稚園・保育所・認定こども園の保育料について

報告第2号の規則改正に伴い、今年度の保育料について昨年度の保育料と比較した表に基づき保育料について説明する。

(2) 平成29年度幼稚園・保育所・認定こども園の入所状況について

資料に基づき、平成29年度の幼稚園・保育所・認定こども園の園児数について報告する。子どもの人数について口頭で報告する。平成28年度に生まれた豊岡市内の子どもは、580

名で前年が619名だったので39名減となっている。平成29年4月の段階で0から5歳児の就学前の子どもの数が約3,860名である。昨年が4,007名だったので140名ほど少なくなっている。この子どもの数の一覧表は第2回の教育委員会で報告する予定である。

幼稚園就園率は、速報値を受けた結果であるが約41%である。

保育園と認定こども園の長時間児は、4月1日付けの待機児童数は8名である。

(3) 平成29年度放課後児童クラブの入所状況について

放課後児童クラブの人員について報告する。前年度後期と比較し、70名多く受け入れている。施設規模と支援員の先生の数から考慮して6倍に近いクラブがあるので、これ以上増えてくると課題となってくると考えている。

(4) 運動遊び事業の冊子の配布について

運動遊び取組冊子を当日配付した。運動遊びの取り組みを始めてから、丸10年の取組をまとめたものである。今までの経過はもちろんだが、現場の先生が子どもを見て活動ができるようにするため、いわゆるハウツー本に仕上げた冊子である。無償で配布する一覧を付けたが、それ以外については1冊1,500円で販売する予定である。運動遊び事業は全国からの研修を受け入れているが、その資料にも活用する。

(深田委員長)

ありがとうございます。報告・説明は終わりました。こども育成課の報告について何か質問・ご意見はありますでしょうか。

(石高教育長)

昨日も校園長会で小学校の校長先生方をお願いをしたのですが、放課後児童クラブを利用する子どもは、学校によっては、3分の1を超える子どもが利用している。豊岡市全体で4分の1である。子どもは、朝、家を出てから3時、4時頃まで学校にいる。その後放課後児童クラブで6時、6時半までいる。家に帰ってお母さんが食事の準備をしている。その間テレビを観ている。ご飯を食べました。風呂に入りました。さあ寝ましょう。家庭が子どもに関わる時間がどれだけあるのか、そう考えたらこの放課後児童クラブで過ごす時間も大切な時間である。

今まで、放課後児童クラブで起こった問題が学校に、学校での問題が放課後児童クラブに入ってきているという状況が生まれてきていることを考えたら、連携の取り方を今一度これでいいのかという視点から考えていっていただきたい。こども育成課が放課後児童クラブを所管しているが、放課後児童クラブの中での過ごし方については、各校長先生や指導員がしっかりと情報交換や相談して連携をとる必要がある。

まして夏休みは一日中放課後児童クラブで生活する子どももある。土曜日にも生活する子どももいる。これからどんどん増えていく中でここが大事な子どもに関わる教育の場、新たな教育の場になりつつあると思う。そのあたりの意義をしっかりと考えていかなければならない。

(深田委員長)

今、大切なお話とご指摘だったと思います。どう質を高めていくかについては、まだまだ研究

そして連携ということを考えていただきたいと思います。

その他何かありませんか。待機児童は去年よりも減っていますよね。

(こども育成課参事)

はい。

(深田委員長)

去年 10 何人と言っていたと思いますが。

(こども育成課参事)

期限後の申込みもありますので、これから申し込みをされる方は申し訳ないですけど待機になってしまいます。

(深田委員長)

待機児童の解消はなかなか難しいのだろうと思います。

(教育次長)

結局保育士が不足していることもあります。

(こども育成課参事)

1 歳児の入所が 50%を超えますと、1 歳児は 6 人で 1 人の保育士を置きますので、民間園も保育士を確保できないために預かれないという状況があります。

(深田委員長)

わかりました。こども育成課の報告を以上で打ち切ってよろしいですか。

(委員)

はい。

(深田委員長)

では、以上で教育委員会事務局からの報告を終了します。

【日程 第 7 教育委員活動報告】

(深田委員長)

続きまして、日程第 7 「教育委員活動の報告」に移らせていただきます。短時間で結構ですので感想を含めて活動で感じられたことがありましたらお願いします。

(佐伯委員)

前回の会議を体調不良で欠席しましてすみませんでした。

今週の火曜日に神戸で行われました兵庫県女性教育委員の会の幹事会に初めて出席させていた

だきまして、各地区の幹事の皆さんと顔を合わささせていただきました。全員出席で開催され、各地区の代表の方がそれぞれの地域の教育のことについて少しお話をされました。小中一貫教育がだんだん広がっている、進んできているという報告を各地区から受けました。その中で教育とは関係ないのですが、幹事会の女性の皆さんが女性委員は発言しにくいことがあると言っておられ、そういう状況があるので女性の会を存続したほうが良いのではないかという意見が出ていました。それを聞いて驚きました。豊岡市で私はそんなふうには思ったことはなく、むしろ女性委員が発言しやすいように、また活動しやすいように等、いろんな方向からフォローしていただいていると感じているので、すごく有り難い環境の中で活動させていただいていると改めて感じた会となりました。

(深田委員長)

ありがとうございました。その他ありますか。

(宮嶋委員)

幼稚園の入園式に出席しました。事前に、少し騒がしい子どもたちですが理解してくださいといわれていました。確かに在園児がざわついていました。新入園児の方が落ち着いていました。先生方はこれから大変だと思いますが頑張ってくださいたいと強く思った入園式でした。中学校は、豊岡市の中で一番小さい中学校でした。新入生より来賓の方が多く、少し寂しく感じました。式は、在校生も新入生もきちんと出来ていました。小学校は、来賓の方がたくさん出席されており、地域の中の学校であることをとても強く感じました。校長先生と教頭先生が新しく赴任された学校でしたが、新しいチーム学校を作り上げてほしいと思いました。

(深田委員長)

入学式の話になりますけれども、最近入学式を見ていましたら、幼稚園だろうが小学校だろうが中学校だろうが保護者の方が両親そろって出席されることが多いので、これはそれだけ子どもの教育に対する関心が高いというふうに捉えています。ずっと課題に上がっていますが、そのパワーを何とか学校の中での PTA 活動に取り入れるためには、どこを突いたらいいのか研究をしなければいけないと感じました。あれだけお父さんもきちっと仕事を休んででも来られるのだから関心度が高いと思いますので、学校運営と保護者の支援についてもっと考えていくべきだと感じた入学式でした。

教育委員の活動報告を以上で打ち切らせていただきます。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(深田委員長)

続きまして日程第8「教育委員会の活動予定」に移ります。次回の教育委員会の会議の日程や今後の活動について教育総務係長より説明をお願いします。

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

1 次回教育委員会会議の日程について

教育委員会の活動予定について掲載している。5月17日(水)9時30分から、本庁舎7階第

3 委員会室で開催する。第3回定例会は、6月22日(木)、6月23日(金)のどちらかで開催したい。

< 各委員の都合を確認し、6月22日(木)で決定する。 >

2 今後の活動・行事予定

教育委員会の活動予定は、資料に記載のとおりである。

(教育総務課参事)

7月5日に総合教育会議を開催したいので、日程を確保しておいていただきたい。本来は5月と11月に開催することになっているが、今回は委員の任期や議会日程等との関係で7月に開催したい。

5月13日(土)にコウノトリ野生復帰普及啓発映像「コウノトリと共に生きる」お披露目会が大会議室で開催される。この映像は、小中学校のふるさと教育にも活用される。

(石高教育長)

コウノトリ野生復帰普及啓発映像「コウノトリと共に生きる」は、保護者にも周知するためにPTA 総会の始まる前に会場に流しながらそこに来られた方から見ていただく。そのあと校長が必ず小中一貫教育に対する取組をプレゼンする。こういった指示を出しておりますので合わせてご案内しておきます。

(深田委員長)

最後に一言だけ発言させてください。新しい教育委員会制度に今度から本市においても変わることになると思います。これからはこの教育委員会の会議は全て教育長が招集され執行されることとなりますので、私がこういうかたちで司会をさせていただくのも今回が最後かなと思っています。5年間やってきましたが、その間事務局の方々、そして特に担当の教育総務係の方々には大変ご支援をいただき、またお力添えをいただいてなんとかここまで来たと思っておりますので、大変感謝しております。これから豊岡の教育に対する熱い思いはいろんなところで、またこの定例の教育委員会、協議会等々でまた話をさせていただきたいと思っております。感謝ということで一言発言させていただきました。どうもありがとうございました。

それでは以上をもちまして定例の教育委員会会議を閉会します。

----- 閉会 午後3時30分 -----